

運転保守状況（備考欄）

2号機

●原子炉補機海水系ドレン配管からの漏えいについて

6月28日（月）14時25分頃、定期検査中の島根原子力発電所2号機の原子炉建物地下1階（放射線管理区域外）において、中国電力（株）社員が、2系統で構成される原子炉補機海水系（※1）の内、一方の系統のドレン配管からの水漏れを確認。

水漏れは原子炉補機海水ポンプを停止したことにより止まった。

漏えいした水は床面の排水口に流れ込んでおり、床面に残った水溜り（約60リットル）は、紙ウェスにより拭き取り回収。

調査の結果、原子炉補機海水系ドレン配管の接続部からの放射性物質が含まれていない海水の漏えいであることを確認。
（中国電力（株）公表済）

原因調査の結果、当該配管接続部のゴム製パッキンが長期使用により割れ等の劣化が進んだ状態となっていたところに、原子炉補機海水ポンプの起動・停止に伴う配管内の圧力変動により、パッキンが破損し、海水が漏えいしたものと推定。

原子炉補機海水系ドレン配管は、点検時に配管内の溜まり水を抜くために設置されたものであり、運転中は使用しない配管であると共に、当該ドレン配管を使用しなくても水抜き作業が可能であることから、当該ドレン配管を撤去することとした。

また、海水系配管（※2）の内、ゴム製パッキンを使用している配管接続部について、今後、計画的に点検を実施することとした。
（中国電力（株）公表済）

（※1） 原子炉補機海水系

原子炉建物内の機器（ポンプ等）の冷却水を冷やすための海水を循環させる設備。

（※2） 海水系配管

原子炉補機海水系等に設置された、海水が流れる配管の総称。

●燃料装荷作業中における中性子源領域計装の指示不良について

10月28日（木）0時50分、燃料装荷作業において、中性子源領域計装（SRM）（※3）4チャンネルのうち1チャンネルの指示が出ていないことを確認したことから本作業を一旦中断。

その後、手順に従い、当該SRMチャンネルを計測系から除外するとともに代替機能を有する中間領域計装（IRM）（※3）での監視を行うこととし、同日1時30分、燃料装荷作業を再開。

調査の結果、当該SRMの電源ケーブルのコネクタが外れていたことが原因であると判明し、同日7時55分、当該コネクタを復旧。その後、指示が正常であることを確認した上で、当該SRMによる監視を再開。

また、その他のSRMおよびIRMのケーブルおよびコネクタの接続状況について正常に接続されていることを確認。
（中国電力（株）公表済）

（※3） 中性子源領域計装（SRM）、中間領域計装（IRM）

原子炉の中性子計測装置の一種。原子炉の起動及び停止時の中性子の量を監視するもの。

●除じんポンプの不調について

10月30日（土）、除じん機（※4）がタイマーにより自動起動した際、「A-除じんポンプ揚水不能」の警報が発生。現場を確認したところ、2台ある除じんポンプ（※5）のうち1台が水をくみ上げていなかったため点検を実施。（中国電力（株）公表済）

（※4） 除じん機

発電所で使用する冷却水（海水）を取水する際に、取り込まれるゴミ等を除去するための装置

（※5） 除じんポンプ

除じん機で除去したゴミ等を洗い流すためのポンプ